

【プレスリリース】宮城県美術館所蔵 絵本原画の世界 2022



2022年2月5日[土]—3月27日[日] 宮城県美術館

宮城県美術館の絵本原画コレクションの中核をなすのは、「こどものとも」(福音館書店)の初期の原画です。一つの物語を全て一人の作家が手がける月刊の絵本という、当時類のないかたちで1956年に創刊した「こどものとも」は、上質な美術体験を与える絵本づくりを目指し、そこには洋画家や日本画家、彫刻家、デザイナー、漫画家、さらには哲学者など、幅広い分野の作家たちが絵を寄せました。草創期の「こどものとも」は、編集者だけでなく、作家たちにとっても思い思いの表現を試す場であり、様々な技法・材質、自由な表現が現れました。そこからはやがて、絵本を主要舞台として活躍する絵本作家も育っていきました。

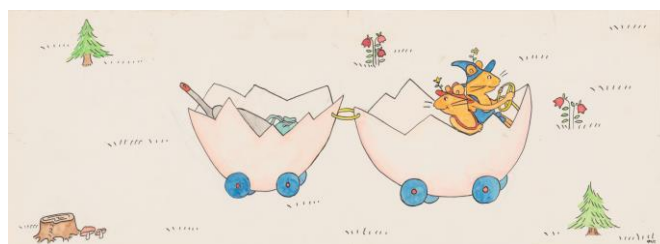
2002-3年と2013年の宮城県美術館の絵本原画コレクションによる同題の展覧会に続き、本展では一万枚を超える原画の中から、「こどものとも」を語るに欠かせない重要な作家や人気作品はもちろん、今回初めて紹介する作家や作品も多数展示します。これら絵本原画コレクションは、創刊から60年以上経た今日、子どもから大人まで広く親しまれるものとなった絵本文化が形成されるまでの原点と歩みを、語ってくれることでしょう。

〈出品作家〉 秋野不矩、朝倉摂、池田龍雄、太田大八、太田忠、小野かおる、串田孫一、クロード岡本、小出保子、齋藤真成、佐藤忠良、竹山博、長新太、寺島龍一、中谷千代子、中谷貞彦、なかのひろたか、西巻茅子、馬場のぼる、林明子、土方久功、堀文子、松下紀久雄、水四澄子、三好碩也、村田道紀、村山知義、矢吹申彦、山田三郎、山中春雄、山本忠敬、山脇百合子、吉井忠、渡辺三郎

展覧会のポイント

● 「こどものとも」と絵本づくりの歩みをたどる

月刊絵本「こどものとも」は、創刊当時(1956年)の出版界でほとんど未開拓の領域であった、子どもにとっての良質な絵本づくりを探求しました。美術の幅広い領域から絵の描き手を求め、さらには絵本の世界に羽ばたく作家を発掘することも願い、判型や紙数も改革を重ねた「こどものとも」から、今日も親しまれる数多くの絵本が世に出ました。『ぐりとぐら』もまた、まだ学生だった山脇(大村)百合子の素朴な絵の魅力を見出した、「こどものとも」から生まれた作品です。



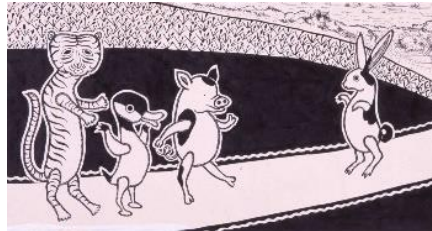
1 山脇百合子《ぐりとぐら》26-27頁原画

● 思い出の作品・人気の作品が大集合

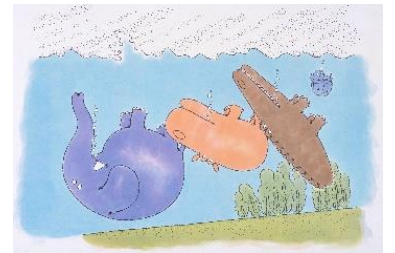
ふたごの野ねずみぐりとぐら、はじめてのおつかいに行くみいちゃん、ぶたぶたくん、ぞうくん、きつねのきっこ…絵本で出会った仲間たちが、時を経ても心に刻まれているのは、絵本の世界に深く入り込んだ幼少期の体験があったからではないでしょうか。それは美術鑑賞の原点とも言える体験でしょう。本展では、世代を超えて愛され続けるロングセラー作品の原画も展示します。



2 林明子《はじめてのおつかい》表紙・裏表紙原画



3 土方久功《ゆかいなさんぽ》8-9 頁原画



4 なかのひろたか《ぞうくんのおおかせさんぽ》28-29 頁原画

● 初公開の作家・作品も多数

宮城県美術館は、48 作家の約 550 タイトルに及ぶ絵本原画コレクションを所蔵しています。所蔵品による過去 2 回（2002 年、2013 年）の「絵本原画の世界」展に続く本展では、34 作家の 52 作品を展示。今回初めて紹介する作家や、おなじみの作家の初公開作品もたくさん盛り込みました。



5 三好碩也《てんからふってきたたまごのはなし》9-10 頁原画



6 西巻茅子《ゆっくりくまさん》26-27 頁原画



7 小出保子《たろうめいじんのたからもの》16-17 頁原画

● 自由な表現、思い思いの発想

子どもたちに本当に美しいものを見せたいと願った堀文子は、子どもの本は赤など鮮やかな色づかいのものという固定観念を打ち破り、黒い背景に淡い色彩がきらめく表紙絵を描きました。朝倉摂はコラージュを取り入れ、中谷千代子は使い慣れた油彩で材料の質感を生かしながら動物たちを描いて注目されました。線描でも色彩でも自由に表現した長新太、印刷技法を熟知して線版と色版を使い分けた山田三郎、幅広い作風を繰り出した太田大八…。物語の世界を汲み取りながら、様々に自身の表現を工夫していった作家ひとりひとりにご注目ください。創作の過程でつくられたラフスケッチや使用されなかった原画（未使用原画）など、絵本制作の舞台裏も一部紹介します。



8 堀文子《ビップとちょうちょう》表紙原画



9 長新太《なんじゃもんじゃはかせのおべんとう》18-19 頁原画



10 山本忠敬《とらっくとらっくとらっく》10-11 頁原画



11 中谷千代子《かばくんのふね》12-13 頁原画

開催概要

展覧会名：宮城県美術館所蔵 絵本原画の世界 2022

会期：2022年2月5日（土）～3月27日（日）

開館時間：9:30～17:00（発券は16:30まで） 休館日：月曜日（3月21日は開館）、3月22日（火）

主催：宮城県美術館、k h b東日本放送

後援：仙台市教育委員会、河北新報社、NHK仙台放送局、t b c東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、エフエム仙台

特別協力：福音館書店 企画協力：キュレイターズ

※感染症拡大防止の観点から、本展および関連イベントの予定や内容に変更が生じることがあります。その場合はウェブサイトなどを通じてお知らせいたします。

関連イベント

● 令和3年度美術館講座「作家と絵本—「こどものとも」の周辺をさぐる」

第1回 2月20日（日）『子供之友』（婦人之友社刊）の画家たち

講師：松本 育子（刈谷市美術館 館長代理）

第2回 2月27日（日）「絵本と前衛—美術のパイオニアたちの試み」

講師：山田 志麻子（うらわ美術館 学芸員）

第3回 3月6日（日）「言葉と絵の狭間」

講師：長沢 明（美術家・東北芸術工科大学教授）

各回午後2時～午後4時

会場：アート・ホール（佐藤忠良記念館地下1階）

定員：各回50名程度 ※ウェブサイトまたは往復はがきにて要事前申込み。

【往復はがき】1名につき1枚の往復はがきで、往信面に、聴講を希望する全ての講座の日付/氏名（ふりがな）/電話番号を明記し、返信面に宛名を記入の上、「宮城県美術館 美術館講座係」（〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉 34-1）までお送りください。※開催日の一週間前必着。

【Web 申込み】



● まちなか美術講座「宮城県美術館収蔵の「絵本原画」」

講師：菅野仁美（当館学芸員）

会場：東北工業大学一番町ロビー 2階ホール 日時：2月26日（土）13:30～（聴講無料）

定員：20名 ※往復はがきにて要事前申込み（締切：2月11日当日消印有効）。応募多数の場合は抽選。

※1名様につき1枚の往復はがきに、講座タイトル/住所/氏名/電話番号をご記入の上、東北工業大学一番町ロビー「まちなか美術講座係」（〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-3-1 TMビル）までお申し込みください。申込締切：2022年2月11日（当日消印有効）。

● 学芸員による展示解説

日時：2月23日（水・祝）、3月21日（月・祝）

会場：講堂 いずれも午後2時～（開場は午後1時30分）

定員：150名 ※当日先着順（聴講無料）

報道公開

2022年2月5日（土）8:40～9:30

展覧会に関するお問い合わせ先：[担当] 菅野

TEL：022-221-2111（代） FAX：022-221-2115 E-mail：kanno_hi374@pref.miyagi.lg.jp

宮城県美術館

作品画像使用申込書

宮城県美術館所蔵

絵本原画の世界2022 担当行

宮城県美術館 FAX : 0 2 2 - 2 2 1 - 2 1 1 5

作品画像の使用を希望する場合、下記の注意書きをお読みにになり、FAXにてお申し込みください。

- ・作品画像のご使用は、本展を紹介いただける場合に限りです。本展覧会終了後は使用できません。
- ・作品画像は必ず全図でご使用ください。トリミング、文字乗せ不可。
- ・掲載に当たっては、必ずキャプションをご記載ください。
- ・クレジット表記などの確認のため、校正段階で原稿をFAXもしくはメールにてお送りください。
- ・Web媒体については、画像・動画データを第三者が再利用できないよう、コピーガード措置を取った場合のみ使用可とさせていただきます。
- ・掲載物(誌、URL、DVD等)を1部ご送付くださいますようお願いいたします。

掲載希望画像	1※	2	3	4	5	6
	7	8※	9	10	11	
○で囲んでください。 ※印はおすすめの画像。						
貴社名						
所在地						
TEL			FAX			
e-mail						
媒体・番組名						
発行・放送予定日	月 日 (: ~ :)					
ご担当者						

チケットプレゼント申込書

宮城県美術館所蔵

絵本原画の世界2022 担当行

宮城県美術館 FAX : 022-221-2115

本展覧会のチケットプレゼント（招待券）を希望される方は、本用紙に必要事項を記入の上、展覧会担当までFAXでお申し込みください。

なお、チケットの提供は、貴社の媒体にて本展をご紹介いただける場合に限らせていただきます。

貴社名			
メディア・部署			
ご担当者			
所在地	〒		
TEL		FAX	
e-mail			
掲載・紹介予定日／コーナー名等			
希望枚数	枚（※5組10枚まで）		
通信欄 （その他ありましたらご記入ください）			

宮城県美術館 〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉 34-1 （担当：菅野、松崎）
TEL : 022-221-2111 FAX : 022-221-2115